

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

2013 せいきょう秋の強化月間

インターネット注文はじまります

(10月1回注文分より)



**お待たせいたしました！
新規登録者の募集を開始します。**

年初から実施しています事業改革の一環で、この間、事前登録した定番商品が自動で届く「マイセット登録」、産地の様子や生産者の声を毎週お届けし注文時の参考にする「産地ビデオレター」の導入を実施してきました。

そして今回、「インターネット注文」を10月1回注文分から開始致します。

もちろん、これまで通りの注文方法でも注文できますのでご安心ください。

詳細・お申し込みは、別紙「申し込み用紙」をご覧ください。

これまで通りの注文もちろんできますが、インターネットならではの機能（過去に注文した商品の一覧、「お気に入り」登録した商品が登場したらお知らせする機能など）もありますのでぜひご注目ください。
常総生協のホームページから申し込みできます。
⇒「常総生協」で検索してください。

10月19日(土) 生協まつり & フリマ お手伝いできる方を募集します！



今年も常総生協本部（守谷）にて、生協まつりを開催します！

今年も組合員さんが生産者のテントと一緒に販売したり、前日にポップを作ったり「組合員さんもごいっしょに！」をテーマに開催します。

今回は同時に「フリーマーケット」を出展できる組合員も募集します（説明会開催します）。

キトリ
「お祭り手伝い」「フリーマーケット出展」申込書

- ・ コース :
- ・ 組合員名 :
- ・ お電話 :
- ・ 区分 (○印を) : (お手伝い参加、フリーマーケット出展)
- ・ まつり当日参加できる人数 :
大人 () 人 、 子ども () 人
- 【説明・打合わせ会 (参加できそうな日に○印を)】
(9/20 金 (フリマ説明会も) 、10/4 金、10/18 金 (前日準備))
- ※いずれも 10 : 30-12 : 00 の開催。参加希望者に別途ご連絡。

今年も秋の新米に感謝しつつ・・・

2013 年のお米作りをふり返る (常総市東町「めぐみちゃん」生産者)

◆ 2013 年めぐみちゃんの米づくり



【苗づくり】

「めぐみちゃん」の米づくりは、4月に育われる種からの苗作りから（一般的には出来ている苗を購入します）。今年は、突然の高温、強風などで、ハウス内の温度管理の腕が試されました。が、そこは米作り 50 年のベテランぞろい。なんとか乗り切りました。

【田植え】



5月（GWころ）の田植えに向けて、「田起こし」（田の土を耕します）。その後、田んぼに水を入れて、「代かき」を行い（田んぼの土を

練りながら平らにする）、天気の良い日を見計らって一気に植えます。

【草取り・管理】

毎日田んぼに行き、水の調整、穂の色、虫付などを管理。時々出る野びえなども抜きます。

【稲刈り】



今年は、猛暑の影響もあり、生育がすすみ 10 日ほど早く収穫が出来る予定です。しかし猛暑も困りもの。暑い日が続くと、米は自分の身を守るために、もみ殻を厚くして耐えます。こうなると米粒が小さくなり、乳白米（くず米として選別機ではじかれてしまいます）の発生原因にもなります。そうならないようにぎりぎりまで田んぼに水を入れて稲の温度が上がらないように日々調整しました。

こうして、種まきから約半年かけて育てたお米を、今年は例年より早い 9 月 9 日の週から刈り取り開始の予定です。

◆ 米の放射能検査は今年もしっかり実施します

主食であるお米は、食べる量も多いので、昨年に引き続き 1 ベクレル以下の精密検査を生協独自で実施します（めぐみちゃんについては、田んぼ 1 枚毎の土壌検査も実施。生産者 11 名分のお米について検査を実施します）。

1 検体あたり 5 時間半かけて検査を行うため、新米スタート時にすべての生産者の検査を完了することができませんので、複数生産者のいる団体は、お届けする生産者の分から先に検査を行い、その後、他の生産者の検査を実施します。

報告は、その都度「商品情報」等でお知らせし、まとまったところで改めて詳細報告いたします。

一般的に出回っている東日本のお米は、国基準の 100 ベクレル / kg 以下の検査を実施して流通されます。主食であるお米の放射能検査を厳密に実施することは大切ですが、放射能だけでなく、生産者と産地、作られ方が明確なお米を食べることをお勧めします。

◆ 今週同時折り込み「お米の契約」ちらしにご注目！

ぜひ、お米の契約・サポーター登録をお願い致します。みんなの 1 袋で産地に元気を！



◆ 2012 年産めぐみちゃん消費状況（速報）

新米登場の季節ですが、8 月 4 回時点で、5.3 t の玄米が残っています。「めぐみちゃんってどんな味？」と、まだ食べたことのない方は 2 kg からでもぜひお試し下さい。

【おしらせ】

「八郷若どり」生産終了のお知らせは、同時配布の「産地情報」をご覧ください。

「関東子ども健康調査支援基金」設立。

10月より甲状腺エコー検診スクリーニングを開始します

みなさんの人材・資金のご協力を頂きたい！

福島の子どものための甲状腺検診の結果はたいへん心配です。17万6千人の確定検診中、甲状腺がん（乳頭がん）がすでに18人（手術19例）。「100万人に1人」と言われてきた小児甲状腺がんが「1万人に1人」という高率で発見されています。がんの疑い（がんである確率80%ないし90%）26人まで入れると44名に。

昨年来、生協の子どもたちを対象に原発事故被ばく影響の健康調査を支援・実施してきましたが、生協単独では限界もあることから、ホットスポットエリアで地域をあげて子どもたちを見守り、万一何が起こっても早期に発見、早期治療ができる市民の体制の設立を呼びかけてきました。

ようやく準備も整い、医師の協力も得てまず甲状腺の検診を継続的に10年20年と続けてゆく体制のスタートを切るところまでできました。

各地を巡回できるポータブルエコー検査器も基金として購入し、また市民スクリーニング後の保険適用での2次検診の地域病院との提携も合意でき、いよいよ10月よりつくば市をスタートに甲状腺検診をスタートさせます。

つきましては、組合員のみならず資金ならびに人材の面でもう一步具体的にご協力を頂きたい下記呼びかけをいたします。どうかご協力をよろしくお願いいたします。

○「子ども健康調査支援基金」への参加（第1次）ありがとうございます！

常総生協内で第1次の基金会員を募集させて頂きました。123名の皆さんより140万円の会費・寄付を頂戴しました。

8月までの準備期間で基金は250万円まで集まりましたが、9月より本格的に広く会員参加・寄付の呼びかけを開始して500万円を目標としています。

生協内部でも第2次の基金会員・寄付を呼びかけます。どうかご協力をよろしくお願いいたします。

○各地区で検診実行委員会をつくれます！

まず茨城県央、茨城県南、千葉東葛地区から検診をスタートさせるにあたって、各地区での会場手配・地域への呼びかけ・申込受付・データ入力等の企画運営に当たる「検診実行委員会」を立ち上げます。

常総生協のエリアでは茨城県南、千葉東葛エリアでの各実行委員会を結成します。ぜひ各地区での実行委員となってご協力をお願いします。

○ボランティアスタッフ募集！

検診当日、受付、受診者への説明、医師の隣で報告書の記載、エコー画像写真の添付、受診者への手渡し、受診者の相談役等の専任ボランティアスタッフを募集します。茨城～千葉にかけて年5回（年10日、午前・午後）のうち、年何日かごいっしょ頂き、できれば数年続けて頂ける方をお願いします（交通費は実費支給）。検診スタッフは研修会をおこないます。

○医療関係者・経験者の組合員のご協力を！

北海道がんセンター名誉院長の西尾正道先生が福島および関東ホットスポットエリアの子どもたちのためにボランティアでかけつけて検診をしてくれます。西尾先生と協力頂いて今後地元で検診できる体制を順次整えてゆきたいと考えています。

組合員の中で、お医者さま、技師さん、看護師等、「医療関係者・経験者」がいらっしゃいましたら、ぜひお力を貸して下さい。

きりとり線

甲状腺検診「協力できますよ！」カード



お名前 _____ (組合員No. _____) TEL _____

基金への会員参加、カンパに協力しますよ！ (OCR注文用紙に6桁番号と口数を記入下さい)

正会員 (地域で名簿を共有し基金や検診の企画運営に参加します) **No.500240** 1口 2,000円

賛助会員 (なかなか運営には参加できませんが、賛同して協力します) **No.500241** 1口 1,000円

寄付 (少しまとまった額を寄付します) **No.500242** 1口 5,000円

各地区での検診実行委員会に参加します！ (茨城県南地区・千葉東葛地区)

ボランティアスタッフになってもいいですよ！ (年 回程度、日程が合う日の午前・午後)

医療関係者です。協力できる範囲で協力しますよ！

(医師・技師・看護師経験者)

【毎年の甲状腺エコー検診】

原発事故当時 18 歳以下のお子さんをお持ちのお母さんへ

「関東子ども健康調査支援基金」で 年内 10/12 つくば、11/9-10 東葛で
甲状腺エコー検診（1次スクリーニング）を実施します。

茨城（県央・県南）、千葉（東葛）の3つのエリアで年5回（10日、約1,000名）ほどの検診を予定しています。甲状腺がんの場合早期発見・早期治療がなによりですので、子どもが大きくなるまで、毎年最低1回の検診を受けられることをおすすめします。

以下の登録・申込をして下さい。

1. 同じ子の継続的な検診を実施してゆきます。「検診登録」をして下さい。
2. 検診登録者は2011年3月原発事故当時、妊娠後期だった子から当時18歳以下（現在20歳以下）の子どもさんを登録対象とします。
3. 甲状腺検診は検診日時時点で3歳以上から事故当時18歳までの子とさせていただきます（3歳以下のお子さんの場合多くは泣いてしまい、首の筋肉が固まってエコーがうまく写せないため）
4. 甲状腺検診では1人1回1,000円以上の「カンパ」をお願いします。（医師・技師・スタッフの交通費・宿泊費および消耗品費にあてさせていただきます）
5. 異常が見られた場合、2次検診として保険適用で提携先の病院で精密検査を受けて頂きます（甲状腺精密検査、血液検査、心電図等）。
6. 常総生協内「子ども健康基金」は「関東子ども健康調査支援基金」に発展しましたので、昨年末より生協で血液検査・甲状腺エコー検診・尿検査を申し込まれて検査を受けられた場合も、今後は新しい「基金」検診に再登録をお願いいたします。
7. 10/12(土)13時～17時「第1回目の甲状腺エコー検診」を「つくば市」(中央労働金庫つくば支店「ろうきんつくばビル」3F)開催を予定しています。医師は北海道がんセンター名誉院長の西尾正道医師が検診します（写真）。西尾先生がエコー画像を見ながら家族にもわかり



福島県いわき市の市民測定室で子どもを検診する西尾正道医師

- やすく説明してくださり、検診報告書およびエコー画像も家族にお渡しします。当日は夕方17～19時に「西尾先生のお話しと相談・懇談会」も開催する予定です（自由参加）。（翌10/13はひたちなか市で開催します）
8. 第2回目は11/9～10に千葉県「東葛地区」(会場未定)で開催します。千葉の組合員さんは、こちらの日程の申込みも受け付けます。茨城県南部(守谷・取手・常総市等)で千葉に近い方はこちらの方への申込みでもOKです。
 9. 基金の会員・賛助会員になっていなくても検診は受けられます。申込人数が多い場合は、基金の会員・賛助会員を優先しつつも、その数に応じて年間で振り分けさせていただきます（抽選等による）。初診のお子さんを優先させていただきますが、すでに甲状腺エコー検査をしていても心配・不安のある方はまずは申込み下さい。
 10. 知人・友人および福島から避難されている方が身近にいらっしゃったら声をおかけ下さい。
 11. 登録および10/12、11/9-10の検診に申し込まれた方に、正式な「検診申込書」をお送りして提出して頂きます。検診の時間帯をご連絡いたします。

..... きりとり線

「関東子ども健康調査支援基金」

検診登録、検診（10/12、11/9-10）申込み書（常総生協組合員用）

1. 検診の登録を申込みます。

○保護者名 _____ (組合員No. _____)

- 基金の（正会員・賛助会員）です（なりました）。
 基金会員にはなっていません。

○受診登録者（お子さん）

No.	お名前（ふりがな）	年齢	性別	検診履歴
1		歳	男・女	甲状腺 血液検査
2		歳	男・女	甲状腺 血液検査
3		歳	男・女	甲状腺 血液検査
4		歳	男・女	甲状腺 血液検査

2. 下記年内の検診を申込みます。

下記（1）（2）に○をつけ受診者のお名前を記載

(1) 10/12 (土) 13:00～17:00

つくば会場（ろうきんつくばビル3F）

お名前（左記の _____）

(2) 11/9全日 - 10AM (土日)

千葉県東葛地区（会場未定）

お名前（左記の _____）

3. 知人・友人、福島の知り合いを紹介します。

(_____)